

# 縞の扱い

## Handling of stripes

鶴上美子

### デザインの意図

服飾デザインの基本ともいべき分割線を利用し縞柄の変化を試みたものである。

#### No. I

斜線一本を使用してドレス空間を分割し、分割線のみによって人体の立体性を表現し、尚、素材の変

化を求めた。

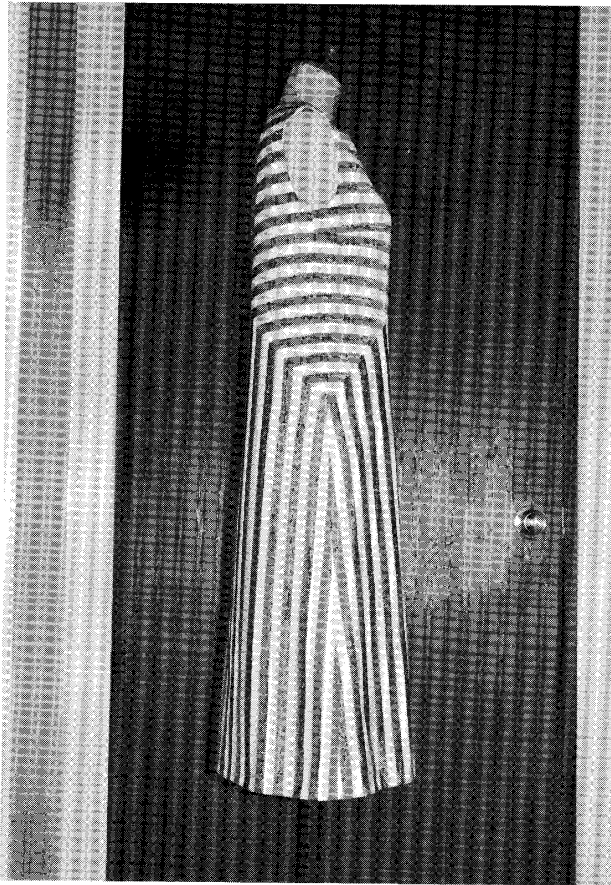
#### No. II

斜線二本を使用して、ドレス空間を交差線により分割し、分割線のみによって人体の立体性を表現し、尚、素材の変化を求めた。

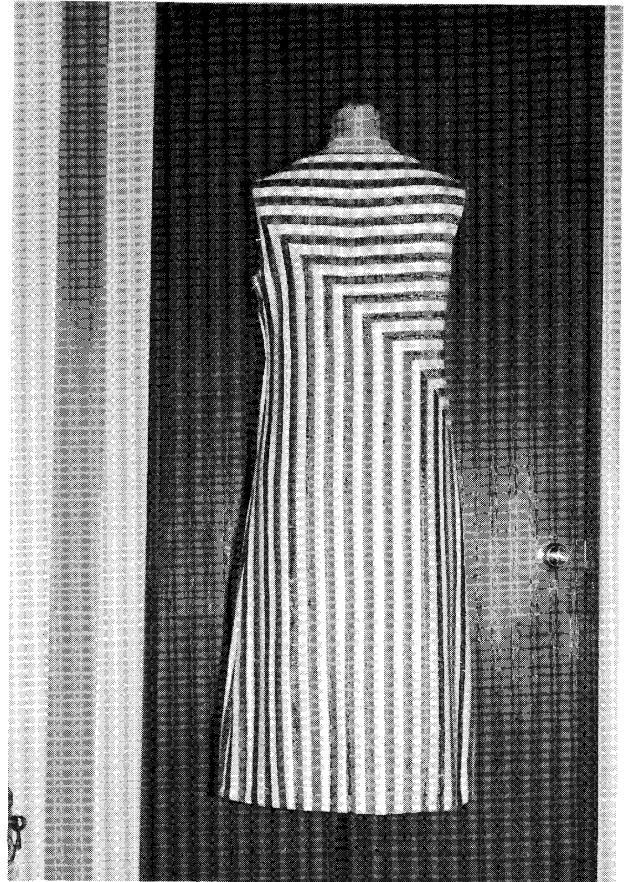
正

面

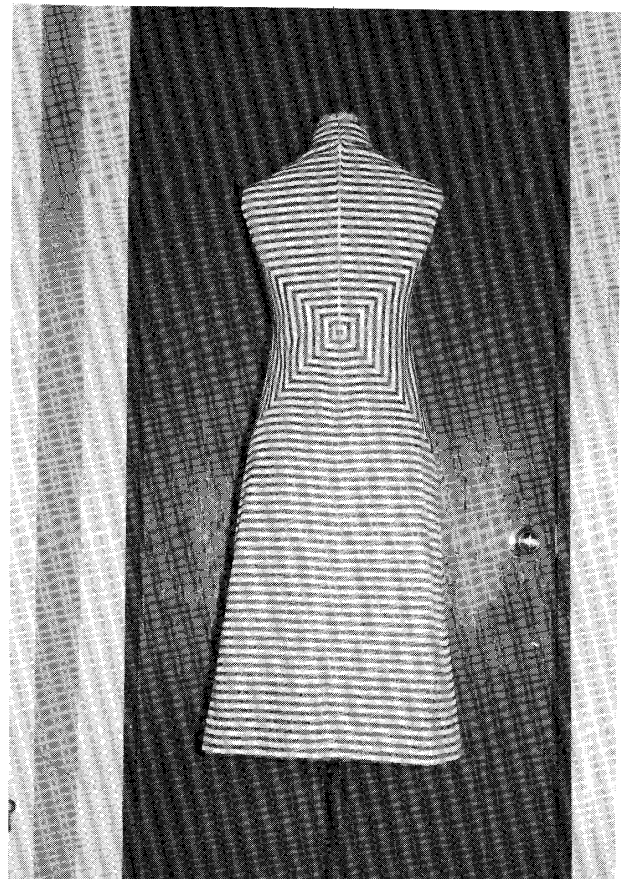


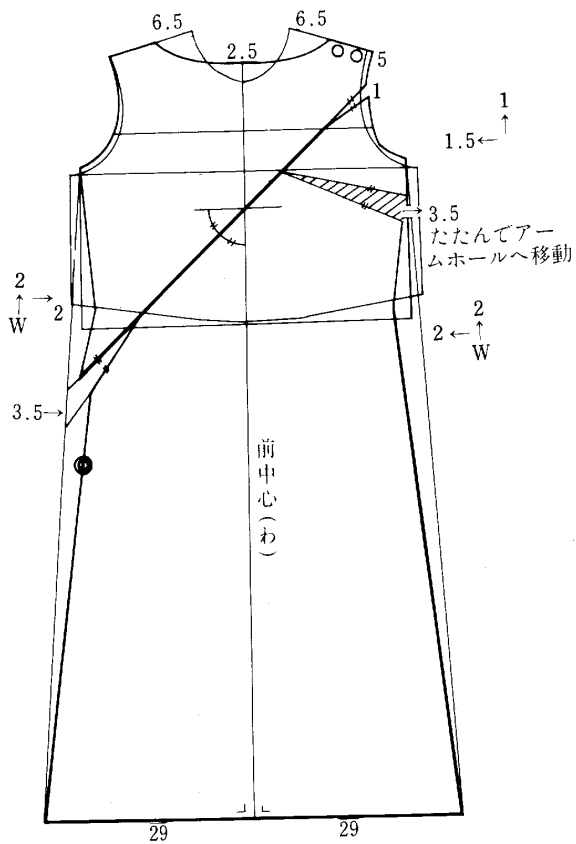


側 面

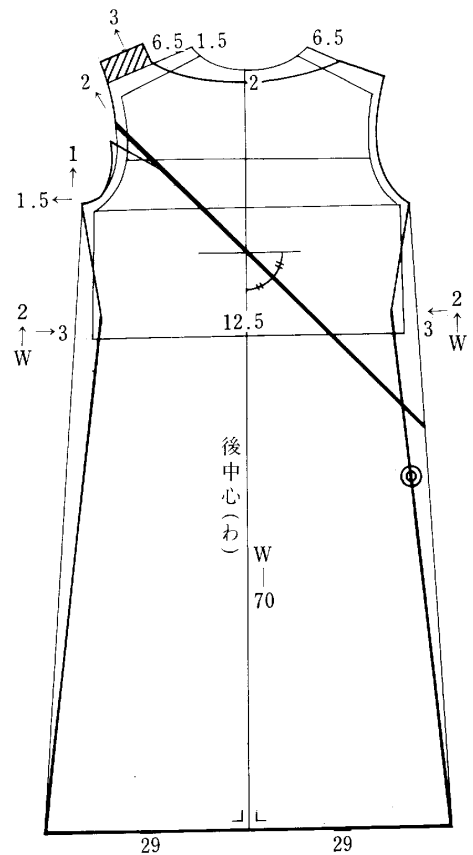


背 面

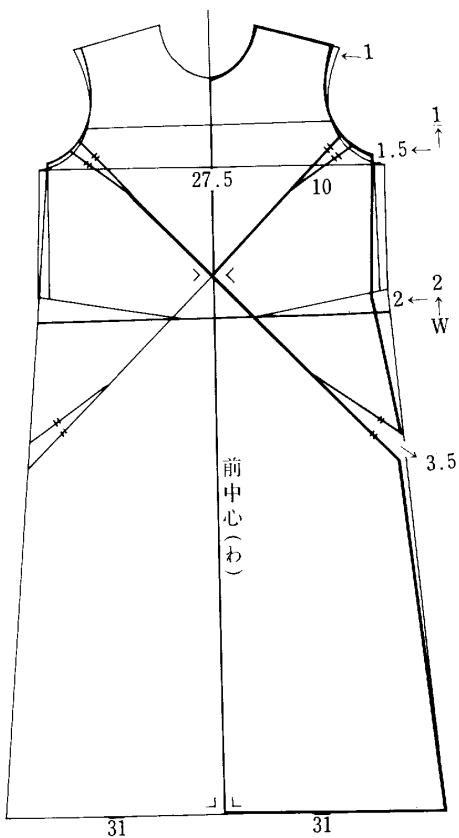




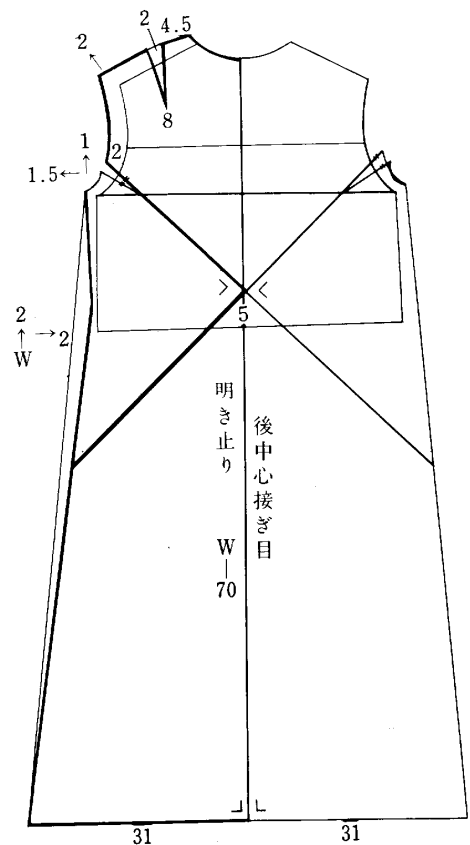
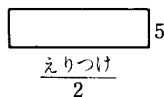
ゆるみ  
B ~ 8  
前後差 ~ 0



斜線が前後共中心線に対して45°であること。



ゆるみ  
B ~ 8  
前後差 ~ 0



製図は前・後それぞれ左右対象の製図で、いいけれど交点での直角を表現するために、一部展開図としたものである。